

まちに、夢を描こう。



MaaSとコロナと地方と都市

2021年8月21日

西日本鉄道株式会社
自動車事業本部未来モビリティ部
モビリティサービス担当課長
日高 悟



今後5年でジワジワくる公共交通の危機と好機

▲運転士の不足

- もともと進行していたがコロナで拍車
- 足元は減便で充足、コロナで採用力低下⇒大きな「ツケ」が回る

▲移動ニーズの量は回復、質は変化

- イベント、旅行など「行きたいから行く移動」が回復
- 公共交通は密イメージ・不便ゆえ避けられマイカー自転車等に移行

◎全世代がデジタルに順化（否応なしにさせられる）

- 生活者も観光客も大多数がスマホ所持、5G普及
- 移動ニーズにマッチした商品と情報を提供できれば公共交通利用も

⇒公共交通ネットワーク（弊社にとっては事業形態）の最適化

目的地連携と顧客コミュニケーション力の強化

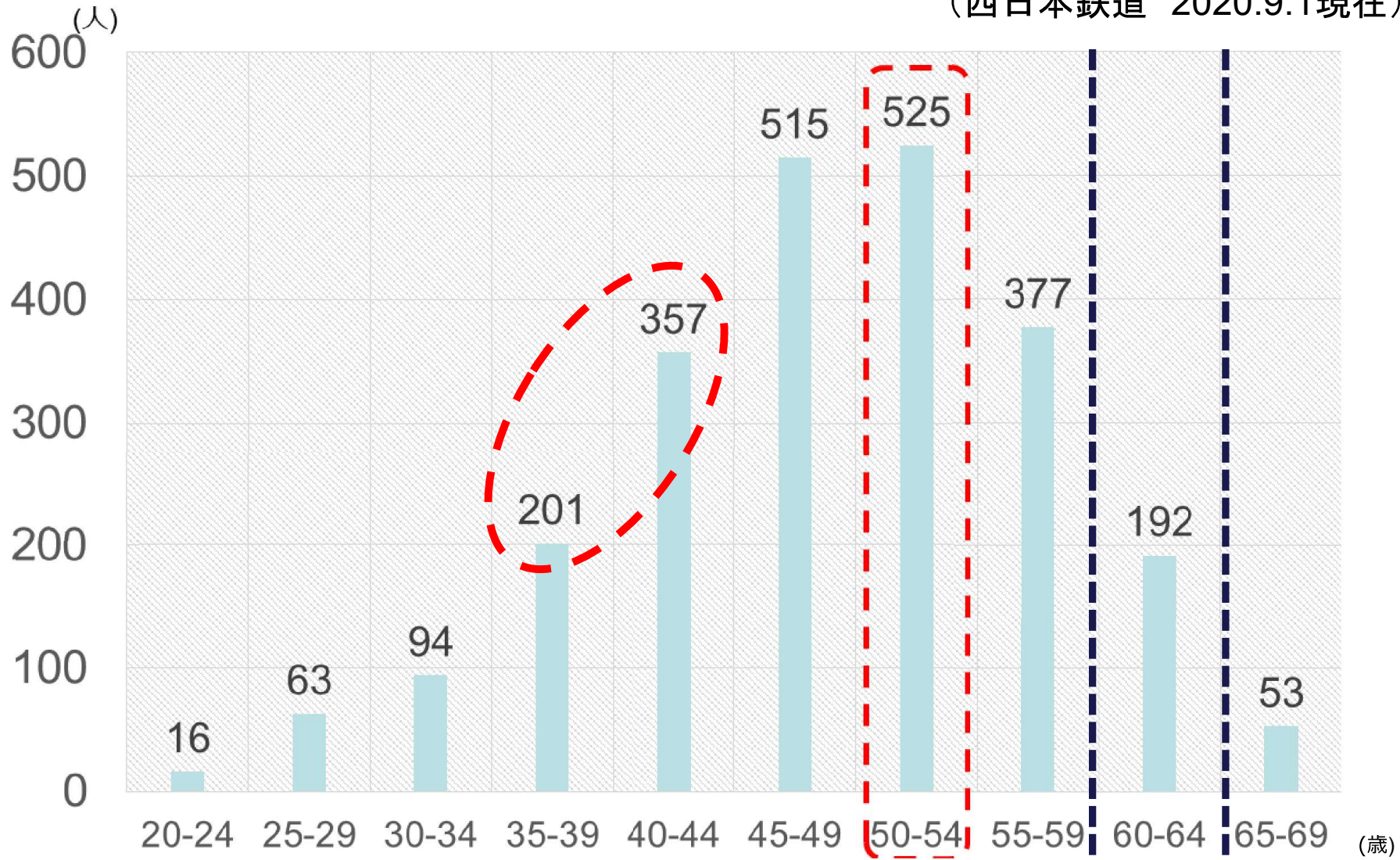
データ収集・活用基盤の整備（データは横連携の共通言語）

西鉄バス運転士の年齢別在籍人数

まちに、夢を描こう。



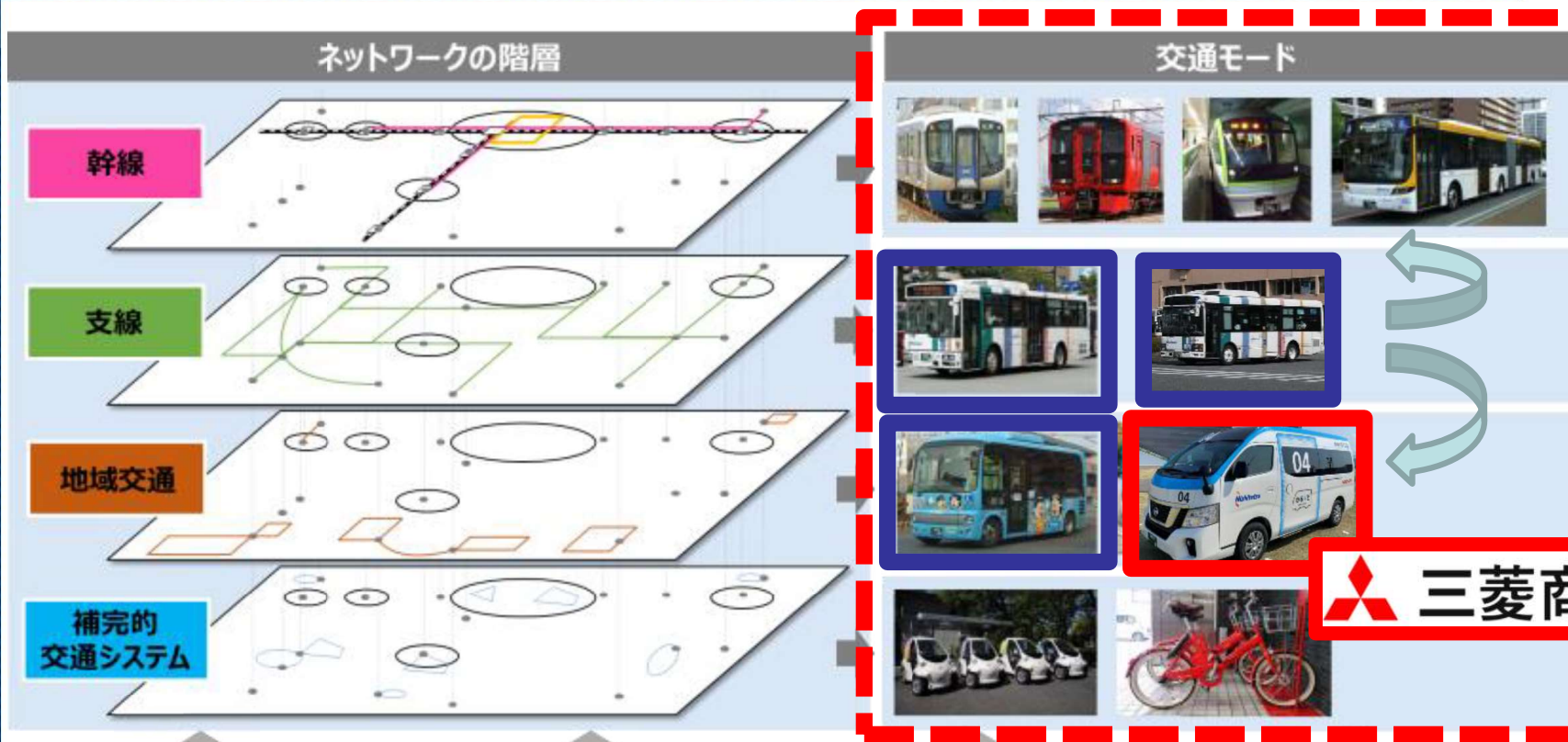
(西日本鉄道 2020.9.1現在)



合計2,393人

公共交通ネットワーク最適化のイメージ

まちに、夢を描こう。



安心・便利で持続可能な
公共交通ネットワークを構築

データ利活用

キャッシュレス

新サービス・ビジネス

MOBILITY AS A SERVICE

自動運転

HITACHI

nimoca

TOYOTA

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Indust

国土交通省

ビジョン

もっと移動したくなる環境づくりを通じて、
すべての人の移動の自由と、ずっと賑わう街づくりに貢献する

① マルチモーダルルート検索

街に存在する様々な移動手段を組合わせた
(マルチモード)ルート提案



② 予約・決済

タクシー・鉄道・バスチケットの予約・決済まで
一連のサービスとして提供



③ イベント・スポット情報

街の回遊性向上に向、アプリ上でイベントや
店舗・スポット情報を提供



九州旅客鉄道さまとの連携

まちに、夢を描こう。



2019年10月23日

九州旅客鉄道株式会社
西日本鉄道株式会社

JR九州と西鉄は輸送サービスの利便性向上に連携して取り組みます

このたび、九州旅客鉄道株式会社（福岡市博多区 代表取締役社長執行役員：青柳俊彦／以下「JR九州」）と西日本鉄道株式会社（福岡市博多区 代表取締役社長執行役員：倉富純男／以下「西鉄」）は、輸送サービスにおける連携に関する覚書を締結しました。

少子高齢化の進展・人口減少、地球環境への配慮、自動運転をはじめとしたモビリティにおける技術革新など、輸送サービスにおける事業環境は、転換期を迎えています。こうした時流の下、交通事業者は、これまでの事業のあり方に捉われない、大きな変革が求められています。

これまで、同じ福岡・九州の地において、地域とともに歩み、地域とともに発展することを共に理念に掲げ、輸送サービスの提供やまちづくりに取り組んできた両社は、更なる地域への貢献を念頭に、輸送サービスの大きな変革への対応と企業価値の向上を実現するため、会社の枠を超えて連携し、お客さま目線での「利便性の高い輸送サービスの実現」に取り組むことに合意しました。

連携当初の取り組みとして、MaaS（※）の活用について具体的な検討を行い、両社の持つ公共交通を活かした情報提供サービスを展開することで、移動の利便性向上を図ります。

さらに今後は、利便性が高い持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けて、新たなテクノロジーを活用しながら、両社で連携して取り組んでまいります。

両社による取り組みの具体的な内容は、検討の進捗に合わせ、随時発表します。



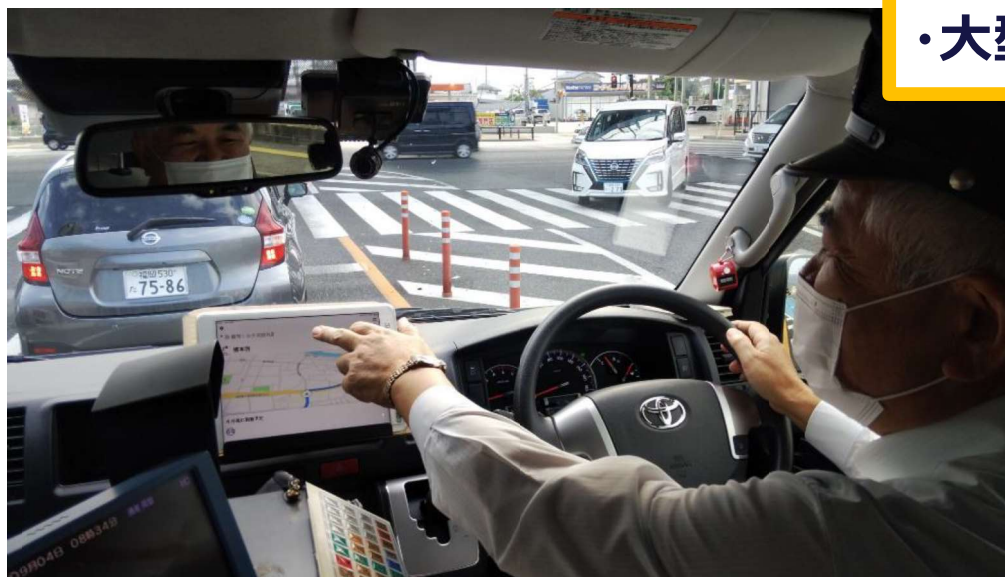
AI活用型オンデマンドバス「のるーと」

まちに、夢を描こう。

Nishitetsu
Group



- ・乗りたい時に近くまで来てくれる
- ・乗用車サイズで取り回しが楽
- ・AIが自動で案内・配車指示し手間なし
- ・リクエストに応じてムダなく走る
- ・大型路線バスより経費小



まちに、夢を描こう。

